

本年度の学校評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。アンケート 回収率は下記のとおりです。また、自由記述欄にも多数の方からご意見をいただき、ありがとうございます。全体的には、高い評価となっていますが、どの面においても課題が残っています。いただいたご意見を参考に、改善を目指し努力してまいりますので、今後とも、本校の教育活動の推進に深いご理解と温かいご支援をくださいますよう、お願いいたします。

【回収率】	児童	90% (5・6年全員)
	保護者	53% (全家庭数)
	地域住民	83% (各区長、民生児童委員等)
	教職員	100%



## 令和5年度 学校評価の集計結果

【評定基準】 A: 目標を達成 B: おおむね達成 C: 努力を要する

項目	評価指標	評定	学校による考察・改善方策
やさしく	地域と豊かに関わり合い、体験活動を通してふるさとを愛する心を育てることができたか。	A	昨年度までコロナ禍によって制限されていた教育活動が緩和され、今年度は地域に出掛けたりゲストティーチャーなど地域人材を活用したりする学習を進められるようになった。今後も地域のよさを学び、ふるさとを愛する心を養っていききたい。また、活動の様子を積極的に発信していききたい。
	勤労と奉仕の喜びを、体得するような体験活動を推進することができたか。	B	教職員・児童の評価と保護者の評価には差がある。学校での係活動、委員会活動、当番活動、清掃活動の取組が、家庭での手伝い等には反映されていないことが考えられる。今後も、家庭での役割や手伝いを推進するなど、家族の一員としての自覚を持たせていききたい。
	保幼小中連携教育を重視し、推進することができたか。	B	今年度は、生活科や授業参観、体験入学などを通して積極的な交流を図ってきた。近隣の幼稚園との合同避難訓練なども継続して実施している。今後も、可能な限りの交流を深めながら保幼小中の連携を図り、確実な引継ぎを行えるよう努めていききたい。
	互いのよさを認め合う仲間づくり、いじめを生まない、負けない集団づくりができていくか。	A	日頃の積極的な指導や誠実な取組が高評価につながっていると考えられる。今後も、全ての教育活動の中で道徳教育を充実させ、互いを認め合い、いじめを生まない集団づくりを進め、一人一人を大切に温かい人間関係づくりを基盤に置いて、心の教育を進めていききたい。
	元気のよい挨拶や返事などの習慣や、発達段階に応じた規範意識が身に付いているか。	A	挨拶運動や教職員の指導、保護者や地域の皆様のご協力により、挨拶の習慣が身に付きつつある。しかし、個人差も大きく、児童への称揚や挨拶の意義の意識付けなどを継続的に進めていききたい。また、善悪の判断をしっかりと行い、きまりを守れる児童の育成を目指して、地域・保護者と協働して健全育成に努めたい。
まじめに	生活科、総合的な学習の時間の充実を図り、地域に学ぶ教育を推進することができたか。	A	今年度は、地域に出掛ける交流学習を通常どおりに実施することができた。また、ゲストティーチャーなど地域人材を招いたり、地域素材を活用したりする学習活動を積極的に実施することができている。今後も、地域に学ぶ教育を充実させていききたい。
	基礎的・基本的な学習内容の定着と読書習慣の定着が図られているか。	B	教職員は肯定的な意見が多かったが、保護者はそれほどではなかった。今後も授業改善を進めながら、分かる楽しい授業づくりに励んでいきたい。また、ICT機器の有効活用を進めていききたい。読書習慣に関しでは、ボランティアによる読み聞かせや、みきやん通帳の活用などにより、本に親しむ児童が増えてきた。
	見通し、対話、振り返りの重視による授業改善に努めることができたか。	A	学習課題の提示や対話による活動の重視、授業の終末における振り返りを大切に授業改善を、全教職員の共通理解の下で進めてきた。今後も、タブレット端末の効果的な活用を図るとともに、自分の思いや考えを明確にしながら、主体的・対話的・協働的に学び合う児童の育成に努めていききたい。
	本気で聞く力と、読解力を伸ばすことができていくか。	B	教職員や児童の肯定的な捉えは高かったが、保護者はそれほどではなかった。じっくりと話を聞く力や、文章や資料から意図や情報を適切に読み取る力をもっと伸ばしていく必要がある。教科等の学習だけでなく、日常的に話を聞く力を育てていききたい。
たくましく	自己管理能力を高め、命を大切にする指導が図られているか。	A	昨年度本校は、通学路安全対策推進事業の拠点校として、交通安全教室や交通安全マップづくりなどを中心とした安全指導に力を注いできた。保護者、地域のご協力により多くの児童が安全な生活を送ることができている。しかし、登下校の仕方や帰宅後の遊び方については課題も見られ、継続した指導が必要である。
	いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めているか。	B	児童からの肯定的な意見はあまり多くなかった。児童がより楽しく登校し、安心して学校生活を送れるように、更なるいじめや不登校の実態把握の工夫や相談体制の充実を図るなど、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に向けて組織的に取り組んでいきたい。
	避難訓練や防災訓練などを適切に実施して、安全対応能力を育てることができたか。	A	本校の実態に合った避難訓練が適切に実施され、教職員も児童も真剣に取り組んだ様子が見える。避難訓練で学んだことが、実生活の危機管理意識として定着するよう、更なる指導を重ねていききたい。また、関係諸機関を交えた質の高い避難訓練を計画していききたい。
	心身ともに健康な生活習慣が身に付いているか。	A	体の健康だけでなく心の健康についても心配の続く数年間であったが、保健主事、養護教諭を核として感染症対策等に取り組んできた成果が、アンケート結果に表れていると感じる。今後も、家庭と協力しながら、健康な生活習慣づくりに努めていききたい。
	目標設定による体力づくりの推進に努めることができたか。	B	全体的に肯定的な評価の割合が低い。コロナ禍が続いたことで、思うように体を動かす機会が減り、運動習慣が定着していないことが考えられる。体育科の授業はもとより、休み時間の外遊びの励行など、運動に親しむ環境づくりを進める必要がある。また、家庭での運動習慣確立に向けての啓発も進めていききたい。
	挑戦・努力し続ける粘り強い心の育成に努めることができたか。	B	教職員や児童の高評価に対し、保護者からはそれほど評価を得られなかった。学校行事や日常の学習活動、運動などの場面において、目標を持って挑戦・努力し続ける粘り強い心の育成に努めているが、家庭生活の中では発揮できていないと考えられる。今後も、機会を捉えて指導を継続していく。
保護者連・携地域	家庭や地域との連携を密にした地域ぐるみの見守り活動ができていくか。	A	登下校時における保護者や地域の皆様、関係諸機関の皆様による見守り活動により、児童は安全に登下校をすることができている。教職員も日常的に登下校指導や巡回に取り組んでおり、高い評価をいただいている。今後も、継続して協働体制を整えていききたい。
	学校や教育活動に関する情報提供を積極的に行い、家庭や地域と連携した教育活動を推進しているか。	A	ホームページや学校・学年だより、適切なメール配信などの活用により、学校の様子や必要な情報を発信することができた。今後も、保護者や地域の方々と直接情報交換ができる機会をつくれるように心掛け、しっかりと連携の下で教育活動を推進していききたい。